

研究機関：広島大学

研究課題名	肝細胞癌組織における歯周病原細菌 <i>Porphyromonas gingivalis</i> ( <i>P.g.</i> )感染状況の検討
研究責任者名	広島大学医系科学研究科口腔顎顔面病理病態学 教授 安藤 俊範
研究期間	実施許可日 ~ 2029年 3月31日
対象者	2004年1月1日 ~ 2015年12月31日の間に、広島大学病院消化器内科を受診された成人の肝臓癌患者さんで、肝臓摘出術を受けた方。
意義・目的	<p>非アルコール性脂肪性肝炎(MASH)はメタボリックシンドロームの肝臓での表現型で、軽度の炎症を伴う病変から線維化を伴う病変に至る進行性疾患である。10~20%ものMASH患者が肝硬変や肝臓癌に移行するとされる。今後、肥満者の増加に伴いMASHやMASHを基盤とした肝臓癌患者の増加が予測され、世界的に深刻な健康問題となっています。</p> <p>一方で、歯周病は、世界で最も罹患率の高い感染症で、歯周病原細菌、特に、主な歯周病原細菌である <i>Porphyromonas gingivalis</i> (<i>P.g.</i>)が歯周炎病巣から血中に入り、全身に波及し、全身の健康状態に悪影響を及ぼすことが知られていますが、歯周病と肝臓癌発症・進展の関連性は、未だ明らかではありません。</p> <p>我々は、肝臓への <i>P.g.</i>感染がMASHを基盤とした肝臓癌発生を促進する可能性があると考えています。</p> <p>本疫学研究ではMASHを基盤とした肝臓癌の手術材料を用い肝臓癌組織において <i>P.g.</i>を免疫組織化学的に検出し、その感染率をC型肝炎ウイルス関連肝臓癌と比較検討することによってMASHを基盤とした肝臓癌の発生に <i>P.g.</i>感染が関与する可能性を明らかにすることを目的としています。また、患者の凍結保存されている余剰血清を用い歯周炎のサロゲートマーカーとされる <i>P.g.</i>血清抗体価を測定し、口腔内の歯周炎との関連性や <i>P.g.</i>感染の有無により肝臓癌に発生すると言われている酸化ストレス関連因子(TNF-<math>\alpha</math>や8OH-GDなど)の発現に違いがあるかについても検討します。</p>
方法	<p>本研究は、広島大学病院で 2004年1月1日 ~ 2015年12月31日に手術を受けた患者さんの中で、非B非C型肝炎細胞癌(MASH関連肝臓癌を含む)患者 50名、C型肝炎ウイルス関連肝臓癌患者 50名を選定させていただきます。特に2006年以降の「病理標本の教育・研究利用について」同意をされた方の保管してある組織のパラフィン包埋材料や凍結残余血清を用い <i>P.g.</i>感染、の免疫組織化学的解析、<i>P.g.</i>血清抗体価と診療録(カルテ)情報を転記して行います。</p> <p>カルテから転記する内容は、年齢、性別などの基本事項と合併症(特にDM、脂質異常症、高血圧症)や生活歴(飲酒・喫煙)、服薬歴、血液検査結果、病理結果などの臨床データです。(個人が特定できる情報は転記致しません)。非B非C型肝炎細胞癌(MASH関連肝臓癌を含む)、C型肝炎ウイルス関連肝臓癌 <i>P.g.</i>感染率やTNF-<math>\alpha</math>や8OH-GDなどの酸化ストレスマーカー発現に違いがあるかどうかについて検討します。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	

カルテ抽出情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、合併症、生活歴（飲酒・喫煙）、服薬歴、血液検査結果、病理所見、再発の有無、予後、腫瘍の分類 手術摘出材料のパラフィン包埋材料 凍結保存余剰血清
外部への試料・情報の提供 誰のものか分からないように加工された試料・情報を、対象者を識別できないように個人情報を加工した上、郵送やクラウドを用いて明海大学に提供し、解析に用いられます。
利用または提供を開始する予定日：本学における実施許可日（2017年11月8日）
研究代表機関：広島大学 安藤 俊範（機関の長：田中 純子） 共同研究機関：明海大学 坂本 真一
個人情報の保護について データの収集と解析に際しては、個人情報に属するデータは扱わず、サンプル番号でコード化し、個人特定をできないようにして解析に使用します。プライバシーの厳格な守秘に努めます。サンプル番号化した後、個人を特定できないようにして解析を行いますので、個人情報が漏洩することはありません。 今回の解析に手術材料のパラフィン包埋材料、凍結保存余剰血清とカルテから抽出した臨床事項を提供することを望まれない方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。
問合せ・苦情等の窓口 〒734-8553 広島市南区霞1-2-3 TEL082-257-5632/FAX082-257-5619 広島大学医系科学研究科 口腔顎顔面病理病態学 古庄寿子